

中津川市地域医療実習 感想文

横須市立 大学 6年生

今回の実習に対して、総括として感想文の記載をお願いいたします。分量はおまかせします。

中津川市地域総合医療センターのHPでご紹介させていただく予定です。

完成しましたら med-cen@city.nakatsugawa.gifu.jp 宛に添付して送ってください。

医療実習を終えて

私は今回の実習で、2つの目標を掲げました。

1つ目は「診療所で先生が大事にしていることを学ぶこと」。

先生はYouTubeで身体検査の模範動画に出演してくれて、

いかにも厳格な医師という印象でした。実際の先生は、悪者さんや、

緊張していた私達医学生も話せるし、丁度いい先生でした。

先生は大学病院では治療のために、現患に向き合う専門家という、

診療所で1人だけ、悪者さんや和太の一部と考え、生活支援、家族の

不安を取り除くために、沈黙の場所が必要に感じ

ておられることを大事に感じました。

2つ目は、利用者、職員の方と話し、新しい視点を得ること。

この中で、利用者の方や、職員の方から話を聞いて、自分達の成長や

先日の成長を伝える様子を見ました。これは物陰から見ることに

なりましたが、大事なのは、自分たちがどうなるか、という点で、

先生に向き合えるように、自分たちがどうなるか、という点で、

先生に向き合えるように、自分たちがどうなるか、という点で、

先生に向き合えるように、自分たちがどうなるか、という点で、

先生に向き合えるように、自分たちがどうなるか、という点で、

先生に向き合えるように、自分たちがどうなるか、という点で、

先生に向き合えるように、自分たちがどうなるか、という点で、

今回、このように機会を博覧して下さり、貴重なお時間を下さった皆様には
心より感謝申し上げます。

私の中の「医師福祉」の関わる方々の理解が深まり、地域で求められる
医師像をまた一つ画しこめてまいります。

この経験を医師として仕かた還元するほう、今後とも積極的に取り組んで
まいります。